

医師が教える「美・健康ナビ」



木下 孝昭先生

医療法人社団 孝昭クリニック院長
医学博士

医師による美と健康に役立つア
ドバイス「美・健康ナビ」を毎月
1回、シリーズで連載しています。

第20回

眼瞼下垂症^{がんけん}

「まぶたを切らない治療法も
専門医に相談を」

「眼瞼下垂」とは、まぶたを持ち
上げる筋肉（眼瞼挙筋）が弱まり、
目が十分に開かなくなる状態のこ
とです。先天性の場合もあります
が、多くは加齢で起こります。

眼瞼下垂になると、眠そうに
見えたり、額の筋肉でまぶたを上
げることによって額に深いしわが入ったり
することがあります。さらにあご
をあげて上から物を見がちになる
ので姿勢が崩れ、頭痛や肩こり、自
律神経失調症などを引き起こし
ます。

治療は、上まぶたを切開して眼
瞼挙筋を固定する手術が多く採
用されます。術後は腫れがあり、
回復には時間が必要です。早めに
症状や予算、スケジュールなどを専
門医に相談し、ゆとりをもつて治療
に取り組んでください。健康保険の
適用外の自由診療では、まぶたを
切らない方法も登場しています。

加齢のほかに、コンタクトレンズや
二重まぶたを作るための接着剤の
使用などが眼瞼下垂症を招く場
合もあります。眼鏡を使う、目を
こすらないなど、日常生活でまぶた
に負担をかけないことも大切です。